

WNR854T V1.2.25 JP 日本語版 リリースノート

1. New Feature(s)

- (1) 日本語 GUI.
- (2) 他社製クライアントとの互換性強化。本バージョンをご利用いただく際は、WN511T 日本語版と一緒にお使いいただく必要があります。英語版との組み合わせでは、性能を最大限発揮することができません。

2. Bug Fix(es)

- (1) リモートマネージメントの動作不具合。
- (2) ポート転送機能
- (3) 禁止サービスとリモートマネージメントのログメッセージを改善
- (4) ポートトリガー不具合
- (5) 禁止サイトの改善
- (6) ギガビットポートの互換性改善

3. Known Issue(s)

- (1) 禁止サイトサービスなどで、IP アドレスを設定する場合、DHCP サーバでプールされたアドレス以外を使えない。例えば、DHCP サーバ設定で、192.168.1.100 ~ 192.168.1.200 を予約した場合、192.168.1.2~192.168.1.99 あるいは 192.168.1.201~192.168.1.254, のアドレス以外を設定できません。
- (2) DHCP サーバアドレス予約で同じ IP、MAC、デバイス名で設定できてしまう。
- (3) WPA/WPA2 混在モードで、Centrino 2195 a/b/g クライアントを使う場合、WPA モードで接続される。
- (4) BRCM 11n クライアントと WPA2 モードで通信ができない。 .
- (5) WEB 管理画面 GUI で Netscape, Firefox, Safari はサポートされません。
- (6) ルータ設定バックアップファイルから、設定を復元する場合は、バックアップファイルの IP アドレスと同じ IP アドレスで行ってください。違う場合は、工場出荷時の設定に戻ってしまいます (例えばバックアップファイル作成時の IP が 192.168.1.1 で、現在のルータが 172.24.0.1 のようなばあい)。
- (7) 禁止サイト、禁止サービスのスケジュールサービスで、日をまたいで構成することができません(例 16:00PM ~ 10:00AM.)。

4. インストレーション

- (1) 警告: ファームウェアのアップグレード後、ルータの設定を工場出荷時に戻す必要があります。アップグレードする前に、設定情報をメモして置いてください。
- (2) ZIP ファイルをダウンロードし、適当なフォルダに解凍します。
- (3) インターネットエクスプローラを起動し、<http://192.168.1.1> にアクセスし、ルータにロ

ログインします。(ADSL回線などで自動的にLAN IPアドレスが変更された場合は、10.0.0.1、手動で変更した場合は変更したIPアドレスを利用します)。

- (4) Router Upgrade をクリックします。
- (5) Browse をクリックし、解凍したファイルの指定します。
- (6) Upload をクリックして、ファームウェアの更新を開始します。更新中は中断しないようにしてください。
- (7) アップグレード完了後ルータを再起動します。
- (8) リセットボタンを長押しし、設定を工場出荷時に戻します。
- (9) 再起動後、ルータに再度ログインします。ステータスメニューよりファームウェアバージョンを確認します。確認後、再度設定を行ってください。